

整理番号	25-3	事務事業名	生活道路整備事業		作成部署	建設部土木課	電話	内線746
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	斉藤順二	課長職名	深尾 壯	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S51	根拠法令等						
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	急激な人口増加に伴い、社会基盤の根幹である生活道路整備の需要が高まったため。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第1章)
	節	道路と交通	(第3節)
	施策	市内幹線道路・生活道路等の整備	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	未舗装、未改良の生活道路。改良済みではあるが、損傷が著しい道路。道路沿線に居住する住民及び道路を利用する人々。	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	生活に密着した道路を舗装及び雨水排水等の整備をすることで、安全で快適な通行を確保することができる。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	生活道路の改良・舗装 整備計画延長32,425mの内28,599mの整備を完了、整備率88.2%
		17年度	生活道路の改良・舗装 278mの整備を完了予定、整備率89.1%

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金		14,100	23,400	
	道支出金				
	地方債			7,200	26,100
	その他特財				
	一般財源	56,162	10,408	3,400	3,400
	合計	56,162	24,508	34,000	29,500
人件費(概算)	人数(年間)	1.00	0.50	0.70	0.70
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	9,000	4,500	6,300	6,300
総事業費 +		65,162	29,008	40,300	35,800

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	道路整備延長(未整備道路)	462m	143m	278m	242m
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	未整備道路の道路整備率	87.80%	88.2%	89.1%	89.8%
	(整備延長/全体延長)	28,456/32,465	28,599/32,465	28,887/32,465	29,119/32,465
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	道路整備1m当り事業費	141千円	203千円	145千円	148千円
	(総事業費/道路整備延長)	65,162千円/462m	29,008千円/143m	40,300千円/278m	35,800千円/242m

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	社会生活の基盤である生活道路が未だ砂利道として残っていることに対し、住民からの早期整備要望は強い。また、改良済であっても早期に実施した路線については経年劣化により損傷の著しい路線があり再整備の要望が強い。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市道整備であるため、市で施工するのが妥当。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の生活環境の改善が図られることから目的としては適切である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	目的を達成する手段としては適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	道路は沿線住民だけが利用するものではなく、不特定多数の人々が利用することから受益者負担にはならない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	道路整備により、生活環境の改善が図られている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	下水道事業と合併し経費節減を図っている。また、水道事業とも調整を図り同時に水道管の入れ替えを行っている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	生活改善のため積極的に実施する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	今後も未舗装道路の改良を行うとともに、改良済みであるが劣化が著しい生活道路については、優先度等を考慮し計画的に再整備していく。